



あなたの〇〇〇〇という薬の必要性は… 医師がお薬の数を調整する理由

こんにちは。この1年も残り3ヵ月ですね。

感冒などの体調不良には気をつけましょう。

手洗い励行でお願いいたします（うがいは世間が言うほど頑張る必要はありません）。



今月のお題はお薬の量に関してです。

①ポリファーマシー

明確な定義はありませんが、飲む薬の量が多いことを意味します。病気にもよりますが、10種類以上の薬を服用されている方も多く見受けられます。薬が多いとその分だけ注意しなければならない副作用が多くなります（その副作用に対して投薬がなされると、薬の量が更に増えます）。お互いの薬の作用（相互作用といいます）で薬が効きすぎたり、効きづらくなったりします。

②ポリファーマシーによる有害事象を減らすために医師がすべきこと

- 定期的な薬の見直しを実施し、患者とのすべての変更を議論し合意する
- 適応のないすべての現在服用してい

る薬剤を中止

- 明らかな適応を有する薬剤を処方する

つまり、必要性が低い薬や適応のない薬を漫然と継続しないことが医師としてなすべきことです。

③あなたのお薬 ○〇〇〇

あなたは□□□□という病気です。〇〇〇〇という薬は△△△△に対する適応が認められていますが、□□□□には適応ではありません（もしくは、□□□□という病気に対する適応はありますが、他にも□□□□に対する投薬がされており、二重となっています）。

〇〇〇〇という薬には、頻度が少ないものの致死的な副作用があります。また、多くみられる●●●●という副作用のために、別な▽▽▽▽という薬も追加されています。

④まとめ

あなたの〇〇〇〇という薬にも上記のようなことが当てはまるかもしれません。不要な（必要性が低い）お薬のせいで、副作用のリスクを抱えてしまうこととなりますので、お薬を多く服用されている方は一度医師に相談して戴いた方が良いと思います。



お客様の課題解決のお手伝いを
「誠心誠意」対応いたします。



FUJITSU パートナー

扶桑電通株式会社

■青森営業所

青森市長島二丁目13番1号
TEL. 017-775-2031(代) FAX. 017-774-4720

■八戸営業所

八戸市三日町2(青銀明治安田生命ビル)
TEL. 0178-44-1855 FAX. 0178-44-8494



「新たなビジネスモデルの創造」
「セキュリティなど進化するネットワークへの対応」
ワンストップソリューションをご提案

《ホームページアドレス》
<http://www.fusodentsu.co.jp>